

## 地域福祉論 I

担当教員 佐藤 林正

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

1. 地域福祉の理念および内容について理解する。
2. 地域福祉の歴史的発展経緯および現状について理解する。
3. 在宅福祉サービスの内容や推進方法およびサービス提供のシステムについて理解する。
4. 在宅福祉サービスの実態について理解する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	新しい社会福祉システム これまでの社会福祉と地域福祉の発展
3	新しい社会福祉システム 社会福祉のメインストリームとしての地域福祉と主体
4	地域福祉の基本的な考え方 地域福祉理論の発展
5	地域福祉の基本的な考え方 地域自立支援
6	地域福祉の基本的な考え方 地域のとらえ方と保健・医療・福祉圏域
7	地域福祉の主体と福祉教育 福祉教育と福祉教育の歩み
8	地域福祉の主体と福祉教育 福祉教育の概念と内容
9	行政組織と民間組織の役割と実際 地方分権と地域福祉計画
10	行政組織と民間組織の役割と実際 社会福祉協議会
11	行政組織と民間組織の役割と実際 社会福祉法人とボランティア活動
12	行政組織と民間組織の役割と実際 民生委員・児童委員、保護司、コミュニティビジネス
13	コミュニティソーシャルワークと専門職 コミュニティワークの考え方・方法
14	コミュニティソーシャルワークと専門職 専門職チームアプローチと住民
15	まとめと確認

## 【履修上の注意事項】

地域福祉に関する日常のニュースや報道に関心を払い、また、実習やボランティアで見聞きしたことを併せて、地域福祉の理論がどのように実際の場面で活かされているかいないかを絶えず考えながら受講し、事前学習および事後学習を必ずすること。

## 【評価方法】

- ① レポートの提出、期末試験の総合点で判定する。したがって、受講学生は講義に必ず出席し、課題についてはきちんと提出することを心がけること。
- ② 評価の方法は、レポート20%、試験80%の割合で行う。

## 【テキスト】

新・社会福祉士養成講座 第2版 第9巻「地域福祉の理論と方法」社会福祉士養成講座編集委員会編集、中央法規を使用する。

## 【参考文献】

参考書については、別途授業の中で指示する。  
テキストの他に、必要に応じてその都度資料を配布する。